

志段味図書館だより

Vol.6

2017年9月号



暦の上では秋となりました。

まだまだ夏の暑さが続きますが、みなさまご体調はいかがでしょう。今月は敬老の日があります。この日は特に、日々健やかに人生を生きていくことの大切さに気付かされます。

今月20日の一般向けイベントはもちろん、9月から10月にかけての展示は、健康や、人生とともに深めていきたい趣味に関する、大人向けのものとなっています。図書館が、これからのみなさまの毎日を豊かにする手助けの場になれば幸いです。



イベントカレンダー

◆9月14日・28日(木曜日) 10:30～10:50
赤ちゃんからのおはなし会

◆9月9日(土曜日) 14:00～15:00
おはなしと工作会
「つくってあそぼう! 1げんギター」

◆9月18日(月曜日・祝日) ※申込は終了しています
①10:00～12:00 ②13:00～15:00
なごやっ子読書ノートでカウンター体験

◆9月20日(水曜日) 10:00～11:00
心も体も元気に! 毎日を健康に暮らそう。
～サラバ! 肩こり・腰痛・関節痛～

講師: えびす治療院院長 滝澤大地氏

場所: 志段味図書館2階 集会室

申込方法: 9月12日(火) 10:00～

来館または電話にて受付します(先着25名)

◆9月30日(土曜日) 10:30～11:00
英語でおはなし会

※各イベントの詳細は、館内掲示・配布物をご覧ください

開館時間: 火～土 9:30～19:00 日曜日・祝日 9:30～17:00

休館日: 毎週月曜日(祝日にあたる時は開館、直後の平日を休館します)

毎月第3金曜日(祝日にあたる時は開館します) 年末年始



9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ は休館日です。

10月の展示予定

■ 月間テーマ展示

本の世界で地球一周旅行!

■ ミニ展示

カラダをいたわる

♪ 世界各地の絶景や遺跡の本を集めた月間展示と、残暑厳しいこの時期に気をつけたい健康の本を集めたミニ展示を予定しています。



～新着図書 Pick UP! (7月～8月に新しく入った本)～

[文学]

- 『わるじい秘剣帖8』 風野真知雄 著(双葉社)
- 『化身の哭く森』 吉田恭教 著(講談社)
- 『凍った夏』 ジム・ケリー 著(東京創元社)
- 『暗闇のアリア』 真保裕一 著(KADOKAWA)
- 『嵯峨野花譜』 葉室麟 著(文藝春秋)
- 『腐れ梅』 澤田瞳子 著(集英社)
- 『うに勝負 料理人季蔵捕物控33』
和田はつ子 著(角川春樹事務所)
- 『じごくゆき』 桜庭一樹 著(集英社)



[文学以外]

- 『ダンボールで作る楽しい自販機&ガチャ』
大野萌菜美 監修(フティック社)
- 『愛知県の山 分県登山ガイド22』
西山秀夫 著(山と溪谷社)
- 『155cm STYLE』 長屋なぎさ 著(宝島社)
- 『帰宅恐怖症』 小林美智子 著(文藝春秋)
- 『いちまいの絵 生きていうちにみるべき名画』
原田マハ 著(集英社)
- 『人は、老いない』 島田裕巳 著(朝日新聞出版)

～志段味図書館スタッフのおすすめ本～

「個人美術館の愉しみ」

赤瀬川原平 著(光文社)

個人美術館には、2つの意味があります。1つは、1人の作家だけの美術館。もう1つは、1人のコレクターによる美術館。

この本では、そんな個性豊かな個人美術館を写真付きで紹介しています。こんなに素敵な絵を描く作家がいたんだ、と改めて知ることができたり、建物自体が魅力的だったり…。

芸術の秋はすぐそこです。この本を片手に、現地を訪れてみてはいかがでしょうか。



「名古屋16話」

吉川トコ 著(ポプラ社)

名古屋在住の实力派作家が、名古屋市16の区と、東海・中部の都市を舞台に、悲喜こもごもの物語を紡いだ、珠玉のショートストーリー集です。

「街の数だけ、ドラマがある」。様々な家族や友情の形を鮮やかに描き、読むだけでその街を歩いている気分に。きっと、モデルになった色々なスポットを訪れてみたくなりますよ。

この本を通して、名古屋の魅力を再発見し、大好きになってくださいね！

◆ティーンズおすすめ本◆

「ヤマザキマリのアジアで花咲け！ なでしこたち」

ヤマザキマリ・NHK取材班 著 (メディアファクトリー)

漫画も映画也大ヒットした、テルマエ・ロマエの原作者が、アジア各地で働く4人の女性たち取材したエッセイ。『過酷』ともいえる環境の中で、なぜ彼女たちは輝いているのか？自身も10代から海外生活を始めたという、著者のエピソードも載っています。女性に限らず、人間としての生き方を考えさせられる1冊。イラストや写真の他、現地のフナ情報も満載です。

